

令和 5 年度第 2 回 葦崎大村美術館協議会議事録

事務局:教育課生涯学習担当

会議の名称	令和 5 年度第 2 回 葦崎大村美術館協議会
開催日時	令和 6 年 3 月 25 日 (月) 15 時 00 分から 16 時 00 分まで
開催場所	螢雪寮
議 題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 5 年度下半期事業報告について ・令和 6 年度上半期事業計画について
出席委員 (順不同)	<p>7 名</p> <p>(小倉委員、林委員、向山委員、水石委員、古屋委員、長谷川委員、篠原委員)</p>
事務局	<p>11 名</p> <p>(館長 大村智、副館長 堀内洋子、教育長 堀川薫、教育課長 佐藤道平、生涯学習担当リーダー 西海希美、美術館事務局長 藤巻明雄、生涯学習担当(学芸員) 若林美帆、学芸員 九鬼菜生、学芸員 降矢 唯、学芸員 小林ゆり香、学芸員 伊藤茜)</p>
公開区分	公開
傍聴人数	0 人
審議概要	<p>1 開 会</p> <p>2 館長あいさつ</p> <p>3 会長あいさつ</p> <p>4 委員紹介</p> <p>5 議 事</p> <p>(1) 令和 5 年度下半期事業報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 企画展・作品寄贈等について ② 教育普及事業について ③ 美術館協力員について ④ 女子美術大学連携事業について ⑤ 美術館・螢雪寮運営状況について <p>(2) 令和 6 年度上半期事業計画 (案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 企画展について ② その他事業について <p>(3) その他</p>

	<p style="text-align: center;">① その他について</p> <p>6 その他</p>
--	---

<p>会議録</p>	<p>(事務局)</p> <p>みなさん、こんにちは。本日は、お足元の悪い中、また年度末のお忙しい中、葦崎大村美術館の協議会に出席いただきまして、ありがとうございます。</p> <p>会が始まる前に、今回、委員さんの切り替えの時期に当たりますので、引き続きお願いしている方には、机の上に委嘱状を置かせていただいております。そして、今回、新たに委員になられた方には、堀川教育長より委嘱状の交付をさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>(委嘱状交付)</p> <p>それでは、会が始まる前に、お手元の資料の確認をいたします。</p> <p>資料、名簿、企画展のチラシ、池田記念美術館のチラシ、企画展の記念冊子</p> <p>それでは、令和5年度第2回葦崎大村美術館協議会を始めさせていただきます。</p> <p>会を始める前に、杉原委員、室伏委員より急用のため欠席との連絡をいただいております。</p> <p>本日の司会進行を務めさせていただきます、葦崎大村美術館事務局長の藤巻です。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>はじめに、大村館長よりご挨拶申し上げます。お願い致します。</p> <p>(館長)</p> <p>皆さん、発言は座ったままでお願いいたします。雨の中、お忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。当館の運営、おかげさまで順調に行われております。特に、委員の皆様からのご支援、教えをいただいておりますこと感謝申し上げます。市も配慮してくださり、当館が順調に運営できるよ</p>
------------	---

うになっております。コロナ禍により来館者が一度減りましたが、再び順調に伸びてきているところでございます。最近のことで申しますと、当館のコレクションの特徴的な面に目をつけられて、絵を貸して欲しいという声も寄せられるようになり、すでに始まっておりますけれども、そちらの方が多く集客を集めているようで、当館ももっと頑張らなければならないと思います。

新しく委員になられた長谷川委員、篠原委員、どうぞ宜しくお願いいたします。お話を聞いていただき、ご意見を賜れば有難いです。どうぞ宜しくお願いいたします。

(事務局)

ありがとうございました。続きまして、会長よりご挨拶お願いいたします。

(会長)

よろしくお願ひいたします。美術館 15 周年を終えまして、今回の企画展は、また新しい大村美術館の顔が見えたかなと思ひました。昨年は、森田元子展、馬場章先生の展覧会など、女子美術大学に関連する先生方の展覧会がありまして、初めて大村美術館へ足を運びましたと、何十人もの方々に声をかけていただきました。そのように新しいことをする度に、ここに来る方が増えるのは有難いことだと思ひました。今回の 70 周年を迎える企画展も、これまでとは違つた形の在り方を見せていただけて、これも将来に繋がる企画かなと思ひて見せていただきました。さまざまなことにチャレンジしているなということを感じます。貸出も多いようですが、その貸出先も著名なところですので、有難いことかなと思ひています。引き続き、貸出した先にも足を運んでみたいなと思ひ、この頃です。わたくし、この美術館ができたころから協議会の委員で、前会長は今の市長さんでした。それを引き継いだ形ですが、また委嘱をいただきましたので、引き続きどうぞよろしくお願ひいたします。

(事務局)

ありがとうございました。

4番、委員の紹介

マイクを回しますので、自己紹介と近況報告も宜しければお願いいたします。

事務局の紹介

(事務局)

議事進行につきましては規則の定めにより会長に議長をお願いいたします。

(議長)

はい、それではしばらくの間よろしくお願いいたします。

本日の委員の出席者7名で定員数に達していることをご報告いたします。本日の議事録の署名を向山委員にお願いいたします。

では、令和5年度の下半期の事業報告を議事とさせていただきます。事務局より説明をお願いします。

(事務局)

配布資料に基づき説明。

(議長)

報告ありがとうございます。では委員の皆様からご意見をいただきたいと思っております。

報告内容が多く多岐にわたっておりますが、気付いたこと等なんでも結構ですので質問や感想等お願いいたします。

(委員 A)

尾形純さんの抽象画の企画展はポスター・チラシを見た感じでは鑑賞したいとは思わなかったが、実際に企画展を鑑賞したらとても良かったです。ポスターやチラシのデザインの難しさを感じました。

(事務局)

今回のポスター・チラシのデザインにつきましては企画展作家の尾形氏と検討しながら作製した経過がありました。実際に来

館された方の声でも最初はどうかと思ったが実際に鑑賞したら引き付けられてとても良かったとの声がありましたので、もう少しお客様を引き付けるようなデザインへの検討が必要であったと思います。

(委員A)

私は企画展2回来ました。

また、今回は企画展の冊子がとても良かったです。家に帰ってゆっくり読んで更に今回の作品への理解を深めることが出来ました。

(事務局)

尾形氏のギャラリートークの日は作家の話を十分に聞いたお客様が終了後に購入されて、沢山仕入れていた企画展図録が売り切れになりました。

(委員A)

今回のように男性作家の企画展はこの美術館としては珍しい事ですがとても良かったと思います。

(委員B)

図録がとても良かった。

(事務局)

今回の図録に関してはネットでも購入できますのでよろしくお願いいたします。

(大村館長)

今回の男性作家の尾形さんについてですが、私は以前より荻太郎さんが好きで彼から尾形さんを紹介されました。尾形氏は当初、絵画の修復士だと思っていた。まさか彼が絵を描いているとは何年も付き合っていたのですが知らなかった。絵を描いていると知った時にどんな絵か見せていただいたら、とても良い面白い絵画でしたので荻先生との関係もあるので今回の企画展に繋がりました。

今回の企画展で展示されている、荻太郎氏の椅子に寄りかかる

女性は捨てようとしていた作品ですが尾形氏に修復していただき、見事に蘇りました。修復士としての尾形氏の力量と荻先生を尊敬している彼でないと出来ない仕事ですね。

(委員B)

感想ですが、女子美との連携授業ですが、説明を聞いていると準備から片付けまで行うというとても良い授業で堀川教育長には悪いのですが普通では経験できない授業なので今後も続けて欲しいと思いますのでよろしく願いいたします。

(堀川教育長)

本当に楽しい授業でした。子供が目を輝かせるとよく言われますが正にこの授業がそうだと感じました。指導案をしっかり用意して授業すべてを学生さんが行っており、また子供たちは最初から最後までお行儀よくしていました。児童は普段個人差がありますが、全員が目を輝かせておりました。更に私が驚いたのは、完成した作品で遊んだ後に作品を解体分別して片づけまで行うところ。児童が誰も嫌がらず、当たり前のように行っていた事です。これは黒板アートと一緒に子供の頭や心の中に残るんだろうなと思い、とても良い授業だったと思います。この授業は市議会でも話題になりました。是非、継続していただきたいと思います。

(大村館長)

私も授業の様子をテレビ画像で見たのですが、私が子供の頃にこんな授業を受けていれば、人生変わっていただろうなと思えるくらい良い授業でした。

(委員B)

今回の授業で行動美術というのか、浜辺や泥だらけになって全身で受ける授業は一般授業ではできないので専門家をお願いして今後行ってほしいです。

(会長)

学生たちは今回のような経験を積むとやる気を感じるので、年々教職を履修する学生が増えております。元々女子美は建学

の精神に美術教員の養成はあるのですが、近年教職の履修生が増えております。

教員にチャレンジして試験を受けて合格者も増えており今年より来年と増えており大学側でも教職試験に向けて特別講座を行っております。今回のような授業に呼んでいただくことがやる気に繋がると思っております。先ほど委員が近年は美術への興味が薄れていくと言われましたが、大学でも美術とデザインの分野を活性化させたいと思ったときに受験生だけに目を向けるのではなく、子供の時から美術に親しむ環境を作る事が大事で大学でも裾野を広げる事に取り組んでおりますので、今後もこのような声かけをお願いしたいと思います。

(事務局)

今回の連携授業はもっと早い時期に行うべきでしたが今後も小倉学長にお願いして継続して行きたいと思っております。

(委員C)

今回の企画展はとても素晴らしい見応えのある企画展ですが、私が以前より申している通り、市民への周知の手段である、市広報の掲載記事が白黒で何の改善もありません。美術が白黒記事で何の意味があるのかわからない蕪崎市の広報です。ゴミの回収記事と同じ扱いなんです、大村先生の前で失礼ですが、大村美術館記事はカラーでお願いしたいと思います。市民に一番に情報を届けているのは広報ですので、美術館の企画展等掲載記事のカラー化をいち早く改善すべきと強く要望いたします。

(事務局)

次回からは美術館記事は広報のカラー掲載出来るように努めてまいります。

(議長)

5年度の下半期の事業報告についての質疑等ございませんか、なければ皆様の拍手をもって承認とさせていただきます。

(委員)

拍手多数。

(議長)

ありがとうございます。では次に令和6年度上半期の事業計画に移らせていただきます。事務局より説明よろしくお願いたします。

(事務局)

提出資料に基づき説明。

(議長)

事務局の説明が終わりました。委員の皆様質疑をお願いいたします。

(委員B)

70周年記念の企画展について、誰かに言ったのですが、陶磁器が2階での展示と企画展での展示で見栄えが違うんです。迫力がありますよね。特にチラシにある河井寛次郎の絵付けはNHKで特集して一度見てみたいと思っていたら、なんと今回展示してるんです。とてもハッピーで嬉しい企画なので早く見たいと思いました。展示する場所によって作品の見え方がこんなに違うんだと感じました。

(事務局)

タイムリーにNHKで特集がありとてもありがたいと思います。

(大村館長)

茶室の件につきましてわたくしの思いを一言、茶室を美術館の協議会でお話しするという事は、わたくし自身の考えですが、お茶というのは日本文化を濃縮しております。その中で美術ととても深い関りがあります。ですから、この茶室が出来ても、組織的には違いますが美術館の一部のように皆様のお力添えをいただきながら整備及び運営をしていきたいと思っております。また、茶室に飾る資料として茶碗や掛け軸等諸々に用

意しておりますので、これらの品も皆様に披露しながら楽しんでいただきたいと思います。

現在、茶室の門の付近に石が3つ転がっておりますが、この石がなんと奈良の薬師寺の、国宝である東塔の最初の土台の石なんです。この石をわたくしがいただくことになった経過は兎も角として、関西において小林一三と薬師寺はとても深い関係にあります。

薬師寺の色んな行事には小林一三が全て関わっているんですね。先日も管主さんからこのようなお話を聞き喜んでおりました。このような経過で、わたくしも喜んで薬師寺で講演を行いました。そのお礼がこの石なんです。今後は小林一三関係の茶室とその修景にこの石を設置して皆さんに楽しんでいただきたいと思います。

(委員A)

県内には茶道の各会派、流派が沢山あります。茶室への呼び水として、これらの方々に今企画展へのご案内をお送りして、茶の道具が展示されていることをアピールしてはどうですか。団体から個人へ声掛けするのも大事な広報だと思います。

(事務局)

早速、準備して対応したいと思います。

(委員A)

来たくなるような文面にしなければ駄目ですよ。

(委員D)

素敵なお茶室が出来、そこで掛け軸や茶器を活用できることは絵画を鑑賞することと違い、新たな美術館の価値が生まれる事でとても面白いと思います。

また、歌碑や薬師寺の石なども葦崎との関りや由来など、来館者や地域の方に分かり易く広報することも大切だと思います。先ほどの広報の掲載記事の件ですが、広報紙の表紙は常にカラーなのでコストを考えますと、今開催している、市制施行70周年の企画展を表紙などに掲載して市民に周知するには良い案かと思います。

(事務局)

茶室の利用時には大村コレクションの茶器でお迎えできますので皆様楽しみにしていただきたいと思います。

(大村館長)

こんなことでもこの辺りが文化の香り高い地域になれば嬉しいです。

(議長)

益々、名所が増える韮崎市ですね。その他ございますか。

(委員B)

薬師寺の石というはどちらにあるのでしょうか。

(事務局)

歌碑のそばに置いてありますので後でご案内いたします。

(委員B)

薬師寺の山田管主の功績には元々興味がありましたので、今回の石は感無量です。

(議長)

美術周辺から発する様々な事が山梨の皆さんの誇りに繋がることはとても素敵な事ですね。

美術館建設当時に韮崎のこの地が文化香る場所になる事を目標に出発し、現在そうなりつつあることが本当に嬉しく思います。

(委員A)

以前からお願いしていた、照明の LED 化につきましては現状どうですか。

(事務局)

令和 6 年度より予算化して順次 LED 化を進めてまいります。

(議長)

その他ご意見等ございませんか。それでは令和6年度上半期事業計画を承認していただける委員さんは拍手をお願いいたします。

(拍手多数)

ありがとうございました。

次の議題としてその他ですが何かございますか。

(大村館長)

なければわたくしから、先の説明の寄贈作品の中に三岸節子の作品が多数あることに気づかれたとは思いますが、わたくしいつかは三岸節子の企画展をやりたいと密かに思っておりました。良い作品があれば集めておりました。現在36点になりましたので、これで三岸節子の展覧会が出来ると思い、令和7年度の生誕100周年に女子美の素晴らしい作品を借りて企画展を開催したいと思っておりますので、議長よろしく願いいたします。

(議長)

女子美としても協力させていただき素晴らしい企画展にしたいと思えます。

委員の皆様、慎重審議ありがとうございました。以上を持ちまして協議会を閉じさせていただきます。

ありがとうございました。